



た や しゅう すけ  
**田 矢 修 介**

けん と  
**県都クラブ**

### 救急患者の受け入れ体制強化への取り組みは

**問** 救急医療は、生命保持の最終的なよりどころである。その体制のさらなる充実により、いつでも、どこでも、誰にでも適切な救急医療が提供されることが望まれている。

平成29年の津市の救急出動件数は、1万4,901件となっており、過去10年間で約31%増加している現状に鑑み、救急搬送患者の受け入れ体制強化に資する具体的な取り組みについて問う。

**答** 救急搬送患者の受け入れについては、夜間や日曜日、祝・休日において、関係病院の協力を得て、病院群輪番制による二次救急医療体制を構築している。

多くの医療機関が休診となる土曜日の午後の時間帯で救急搬送照会回数が増えている状況から、土曜日の14時から22時までの時間帯を補完する輪番体制を創設するなどの取り組みを進めた結果、搬送先病院を決定するのに10回以上の照会を要した件数は、年々、減少傾向にあり、1回の照会で決定した件数も、増加傾向にある。

今後も、さまざまな課題に一つ一つ対処、解決しながら、二次救急医療機関や医師会等の関係機関と引き続き協議を行い、市民に安心して生活していただけるよう努めていく。

### ●その他の質疑・質問●

- 今後、健全な財政基盤の確立と施策の充実は両立するか
- 道路維持、交通安全施設整備、公園管理など市民要望に応え得る予算措置はなされているか
- 地域の特性に応じた雨水排水対策の具体的な取組内容は
- 言葉への気付きなど英語教育と国語教育のさらなる連携を
- 大型ごみ個別収集支援について屋内からの排出を など



▲毎夜間に加え日祝日の昼間も診察する津市応急クリニック



はっ た まさ とし  
**八 太 正 年**

じゅうみんしゅうとうしぎだん  
**自由民主党市議団**

### 戸木小学校・久居中学校の通学路の整備を

**問** 戸木小学校および久居中学校へは、青葉台から多くの児童・生徒が市道西鷹跡庄田線などを通して通学しているが、道幅が狭く、子どもたちの安全のためにも整備が求められている。

また、国道165号から南進して青葉台へ進入する交差点については、待避所がないため、信号機を設置することができないと聞いているが、この問題をどのように解決するのか。

**答** 市道西鷹跡庄田線については、地域からの要望を受けて、2月に3カ所の交差点を赤色にカラー舗装し、また、グリーンラインによるカラー舗装、外側線の引き直し、横断歩道や停止線の塗り直しを行った。

これにより、子どもたちが当該市道を横断するとき車の運転者に注意を促し、また、自転車優先されるスペースが明確になって車がスピードを出しにくくなるなど、子どもたちも安全に通行できるようになり、一定の効果があったと認識している。

また、当該交差点への信号機の設置についても、関係部局と十分に協議をしていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 矢頭トンネルからのズリ（建設資材）の横流しについて
- 公共工事発注の火薬使用による民家破損の事故等に伴う補償について
- 合併特例債を有効活用して都市計画道路（久居井戸山町垂水線）の整備を
- 近鉄久居駅周辺の鉄道高架化について



▲公共工事の火薬使用により家中にクラックが生じた民家